

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	山下 活博
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	25,018 (H27)	(H28)	
施策2	次代を担う石川の観光人材の育成に向けた取組を強化	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	25,018 (H27)	(H28)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	25,018 (H27)	(H28)	1 いしかわ仕事旅開発事業	若年者	2,000			
							2 いしかわスイーツ博開催事業費	観光客全般	15,000			
							3 金沢城・兼六園四季物語開催事業	観光客全般	17,600			
							4 観光地活性化推進事業費	市町等	21,000			
	課題2 石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	25,018 (H27)	(H28)	1 観光客の声を活かすおもてなし向上事業	観光客全般	2,000			
							2 ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、一般県民	500			
	課題3 石川ならではの魅力の発信	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	25,018 (H27)	(H28)	1 いしかわ観光応援団活動推進事業費	観光客全般	5,340			
							2 「旬のいしかわ」ウェブプロモーション事業費	一般観光客	9,500			
							3 ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	一般観光客	92,000			
	課題4 広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	25,018 (H27)	(H28)	1 加賀温泉旅館等誘客促進事業費	観光客全般	18,000			
施策2	課題1 観光振興を担う人材の育成	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	25,018 (H27)	(H28)	1 次代を担う石川の観光人材育成事業費	観光事業者、一般県民	3,000			

※人数については、暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ仕事旅開発事業	事業開始年度	H27	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	観光企画課		
成	職・氏名	主任主事 釣谷 俊介			
者	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3922			

事業の背景・目的

北陸新幹線金沢開業後も中・長期的に観光入り込み客数を維持・拡大していくため、近年の観光客ニーズに対応した素材として本県ならではの体験観光プログラム「いしかわ仕事旅」を開発し、更なる観光誘客に繋げるとともに、そのノウハウを蓄積して観光素材開発の能力向上を図る。

事業の概要

- 体験観光プログラム「いしかわ仕事旅」の開発
 内容:①多様化する観光客ニーズを満たす新たな体験観光プログラム「いしかわ仕事旅」の開発・磨き上げ
 ②エージェント向け素材集等の作成

事業費 2,000千円

施策・課題の状況

施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価				
課題	新たな魅力づくりと満足度の向上による石川ファンの拡大	評価				
	指標 観光入り込み客数	単位	千人			
	目標値	現状値				
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	30,000	21,055	21,632	21,611	25,018	

事業費

	(単位：千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算				4,000	2,000
	決算				4,000	
一般	予算				4,000	2,000
	決算				4,000	
財源	決算				4,000	
事業費累計					4,000	6,000

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	いしかわスイーツ博開催事業費	事業開始年度	H24	事業終了予定年度	H27	作組織	観光企画課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成職・氏名	専門員 伊藤 江梨

●事業の目的

「菓子処石川」において、特に女性に人気の高いスイーツをテーマにしたイベントを行うことにより、石川ファンの増やし、観光誘客を図る。

●事業の概要

1. 主催 石川県、(公社)石川県観光連盟
2. 協力 石川県菓子工業組合、(一社)石川県洋菓子協会
3. 内容 百万石の菓子文化 いしかわスイーツ博2016の開催
 - (1) 第5回いしかわスイーツコンテスト
 - ①応募資格 全国の製菓学校に所属する学生(3名1チーム)
 - ②スケジュール
 - 3月 募集開始
 - 8月 第1次審査(書類審査)
 - 10月 決勝実技審査
(会場：スーパースイーツ製菓専門学校)
 - (2) いしかわフェア2016の開催
 - ①開催日時 平成28年10月15日(土)・16日 両日10:00～17:00
 - ②メイン会場 石川県政記念しいのき迎賓館(金沢市)
 - ③内容
 - ・県内和洋菓子店による菓子販売ブースの展開
 - ・菓子作り体験、茶会の実施
 - ・いしかわスイーツコンテスト結果発表及び表彰式
ほか
4. 事業費 24,500千円(県15,000千円、市町等9,500千円)
5. 交付先 (公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
指標	観光入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
30,000	21,055	21,632	21,611	25,018			
事業費							
(単位：千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
事業費	15,000	15,000	15,000	25,000	15,000		
一般	15,000	15,000	15,000	0	0		
財源	15,000	15,000	15,000	0	0		
事業費累計	15,000	30,000	45,000	70,000	85,000		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 「金沢城・兼六園四季物語」開催事業費	事業開始年度	H14	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン2016		

作 組 織	観光企画課			
成 職・氏名	専門員 伊藤 江梨			
者 電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3925			

●事業の背景・目的

金沢城公園や兼六園などを舞台に、夜の魅力アップを図ることを目的に、四季を通じてイベントを開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、石川ファンの増やし、観光誘客を図る。

●事業の概要

- ・金沢城・兼六園ライトアップ

雰囲気異なる金沢城・兼六園の特徴を活かしたイベントを実施(計57日間)

タイトル	開催日	開催時刻	備考
春の段 (10日間)	平成28年4月28日(木)～5月7日(土)	18:30～21:00	ライトアップ
初夏の段 (3日間)	平成28年6月3日(金)～5日(日)	19:00～21:00	ライトアップ
夏の段	(6日間) 平成28年6月24日(金)～26日(日) 平成28年7月1日(金)～3日(日)	20:00～21:30	ライトダウン (蛍鑑賞会)
	(3日間) 平成28年8月18日(木)～20日(土)	18:30～21:00	ライトダウン (夜間開園)
秋の段	(16日間) 平成28年11月18日(金)～12月3日(土)	17:30～21:00	ライトアップ
	(7日間) 平成28年12月4日(日)～10日(土)	17:30～21:00	ライトアップ (エリア限定)
冬の段 (9日間)	平成29年1月27日(金)～2月4日(土)	17:30～21:00	ライトアップ
早春の段 (3日間)	平成29年3月17日(金)～19日(日)	18:30～21:00	ライトアップ

●負担金交付先・事業規模

- ・交付先：石川の四季観光キャンペーン実行委員会(会長：石川県観光戦略推進部長)
- ・事業規模：27,450千円(県負担 17,600千円, 金沢市負担 9,300千円, 繰越金550千円)

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
30,000	21,055	21,632	21,611	25,018		
事業費						
(単位：千円)						
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
事業費 予算	9,082	8,729	12,763	17,600		
事業費 決算	9,082	10,662	12,763	17,600		
一般 予算	9,082	8,719	12,763	17,600		
財源 決算	9,082	10,662	12,763	17,600		
事業費累計	92,789	103,451	116,214	133,814		
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	観光地活性化推進事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作組	織	観光企画課			
成職	氏名	主事 中嶋 高大			
者電	話番	076 - 225 - 1539 内線 3922			

(事業の背景・目的)
 温泉地に代表される主要観光地等の活性化を図るため、県の「ほっと石川観光プラン2016」を踏まえ、観光協会、広域観光協会等が実施するソフト事業及びハード事業に対し、支援を行う。

(事業の概要)
 ◎観光地のブランド化推進(ソフト事業) 21,000千円

(1) 対象事業

- 観光地の活性化を図るため、市町が策定した観光振興計画に基づき新たな観光資源の掘り起こしや地域の個性を活かした観光地づくりなどのブランド化を図るソフト事業に対する支援
 事業例：観光資源のブランド化、個性あるイベントの実施など
- 外国人観光客の受入整備に係るソフト事業に対する支援
 事業例：外国人観光客に対応したパンフレットの作成、人材育成など

(2) 交付先：市町
 (3) 経費負担：県1/3(上限4,000千円/温泉地等)、市町1/3、実施主体(観光協会等)1/3

(これまでの見直し状況)
 H17：「個性豊かな温泉地まちづくり推進事業費補助金」、「温泉地街並み等修景整備促進事業費補助金」、「快適観光空間整備促進事業費補助金」を廃止。「観光地等再生計画策定支援事業費補助金」を統合「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」創設
 H19：「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」廃止

施策・課題の状況								
施策	国民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価		
課題	新たな魅力づくりと満足度の向上による石川ファンの拡大					評価		
	指標	観光入り込み客数				単位	千人	
	目標値	現状値						
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	30,000	21,055	21,632	21,611	25,018			
事業費								
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
事業費	予算	24,320	24,320	24,320	24,120	21,000		
	決算	24,320	24,320	24,320	24,120			
一般財源	予算	24,320	24,320	24,320	24,120	21,000		
	決算	24,320	24,320	24,320	24,120			
事業費累計		103,290	127,610	151,930	176,050	197,050		
評価								
項目	評価	左記の評価の理由						
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)								
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)								

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 観光客の声を活かすおもてなし向上事業	事業開始年度 H27	事業終了予定年度	作 組 織 観光企画課
	根拠法令・計画等 ほっと石川観光プラン2016		成 職・氏名 専門員 嘉門 佳頭
			者 電話番号 076 - 225 - 1126 内線 3917

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、お客様が本県に対し、どのように思っているのか、良い意見、悪い意見を問わず受け止め、広く観光業界全体で共有し、迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えることを目的とする。

<事業の概要>

新幹線開業後の実態や問題点を把握し検証するため、「お客様の声」を募集する。併せて、同じクレーム等が発生しないよう、業界全体で「お客様の声」を共有し、「おもてなし」の向上を図る。

事業総額: 4,000千円
 負担割合: 1/2(県 2,000千円、市町等 2,000千円)
 交 付 先: (公社)石川県観光連盟

- (1) アンケートハガキ及びPR用ポスターの作成、設置
 設置先: 県内主要駅、道の駅、観光情報センター、空港、宿泊施設 等
- (2) 観光関係団体との情報共有
 いただいた声を取りまとめ、観光連盟会員やその他観光関係団体にデータを送付

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	30,000	21,055	21,632	21,611	25,018	
事業費						
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算				3,000	2,000
	決算				3,000	
一般	予算				0	0
	決算				0	
事業費累計					3,000	5,000
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り進むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ウェルカムいしかわ推進事業費	事業開始年度 H22	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作	組	織	観光企画課
成	職・氏名	専門員 田中 華依子	
者	電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3923	

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線金沢開業により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、県民総ぐるみで「おもてなし」向上に向けた取り組みを推進し、県民一人ひとりが当事者意識を持つための意識浸透を図る。

<事業の概要>

1 「観光おもてなし塾」の開催

観光事業者等、第一線で活躍する方々のスキルアップを図る。
 対象: 宿泊施設、観光施設、交通機関、飲食・物販関係、ボランティアガイド等に従事する方々
 内容: おもてなしに関する講義、ケーススタディ等
 回数: 年2回

2 「おもてなし講座」の開催

おもてなしについて考えるきっかけづくりを提供する。
 対象: 企業や各種団体(公民館、地域団体など)が開催する会合、セミナー、研修会等の参加者や、北陸新幹線開業により、観光客が増加した地区の商店街組合など
 講師: ほっと石川観光マイスター等
 回数: 年50回程度

施策・課題の状況

施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上	
	指標	単位
	観光入り込み客数	千人
	目標値	現状値
	平成37年度	平成24年度
	平成25年度	平成26年度
	平成27年度	平成28年度
	30,000	21,055
	21,632	21,611
	25,018	

事業費						
(単位: 千円)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	8,300	6,300	5,500	500	500
	決算	8,300	6,300	5,500	500	500
一般	予算	8,300	6,300	5,500	500	0
財源	決算	8,300	6,300	5,500	500	500
事業費累計		12,400	18,700	24,200	24,700	25,200

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわ観光応援団活動推進事業	事業開始年度	H22	事業終了予定年度		作組織	観光企画課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成職・氏名	専門員 定司 太一
						電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3926

◎事業の背景・目的
 全国に向け石川の魅力や観光情報を発信するため、ロコミによりPRいただける方を「いしかわ観光特使」として委嘱しているところであるが、加えて首都圏においては、北陸新幹線金沢開業を受け、本県の魅力発信や誘客活動を一層推進していくため、石川県人会をはじめとする本県ゆかりの首都圏在住者と協働して取り組むことが大変重要である。本事業では、特使の情報発信や誘客活動をサポートするとともに、特使や県人会をはじめとする県ゆかりの首都圏在住者の方々と一体となって、情報発信の強化を図る。

◎事業の概要

1 県人会等協働PR推進事業
 県政の理解を深めていただくとともに、観光やビジネス面を含む幅広い分野で、首都圏在住の方々と本県との連携を強め、首都圏における情報発信力を強化する。

(1) 首都圏いしかわ交流推進委員会の開催
 ・石川県人会、ふるさと会、同窓会等首都圏在住の本県ゆかりの方々に対し、観光振興、のと里山空港・小松空港の利用促進、移住促進、企業誘致などの本県の取組について説明し、協力を依頼

2 いしかわ観光特使ネットワーク推進事業
 特使の資質を維持向上するため、特使の活動サポートを継続する。

(1) 研修・交流会の開催
 ・交流・情報交換の場を提供し特使活動の活性化を促す
 ・開催場所: 研修・交流会(関西、中京、県内)

(2) 活動サポートグッズの作成
 ・新特使名刺 …… 全員に配布(200枚/人)

(3) 観光情報の提供
 ・「いしかわ観光特使事務局通信」のメール配信 …… 定期的送付(月2回程度)
 ・パンフレット送付 …… 定期的送付(年4回)
 ・ホームページ …… 特使の活動報告、協力施設のイベント情報など特使のための情報発信

(4) 事務局の設置
 特使からの問い合わせや資料請求等にきめ細かく対応するため、専任の事務局を設置する

- ・特使からの問い合わせ、資料請求等への対応
- ・活動報告等の整理、ホームページへの掲載
- ・特使への各種案内、資料等の発送作業

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	30,000	21,055	21,632	21,611	25,018		
事業費							
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	予算	5,500	9,100	9,100	8,700	5,340	
	決算	5,500	9,100	9,100	8,700	5,340	
一般	予算	5,500	9,100	9,100	8,700	5,340	
	決算	5,500	9,100	9,100	8,700	5,340	
事業費累計		24,000	33,100	42,200	50,900	56,240	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	「旬のいしかわ」ウェブプロモーション事業費	事業開始年度	H28	事業終了予定年度		作組織	観光企画課
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成職・氏名	主事 三浦 麻美	者電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3927

◎事業の背景・目的
 インターネットを活用した宿泊予約(2012年:43.3%)や旅行検討段階での情報収集(2013年:43.7%)が増加している状況を踏まえ、インターネット上で個人客をターゲットとした効果的な情報発信を行い、三大都市圏からの誘客の促進を図る。

◎事業の概要
 1 内容
 (1)大手旅行予約サイトを活用した情報発信
 季節に合ったテーマ(温泉、食、景観等)を設定した県内各地域の観光情報を発信するとともに、三大都市圏を対象にメールマガジンを配信することで効果的に誘客の促進を図る。(年2回、各8週間)

(2)SNSで発信する「いしかわのイチ押し」キャンペーン事業
 近年、利用が拡大しているSNSを活用し、本県の観光情報の発信を促す投稿キャンペーン展開することで、SNS上で石川県の観光情報の拡散を図る。また、キャンペーン参加者に特別宿泊プラン情報を追加配信し、宿泊予約の増加に繋げる。

(3)大手福利厚生代行会社と連携した情報発信
 業界最大手の送客効果の高い1社とのタイアップにより、会員専用HP、メールマガジン、会報誌を活用した会員へのダイレクトな情報発信を行う。(全国版、年2回)

2 事業費 14,000千円(県 9,500千円、市町等 4,500千円)

3 交付先 (公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	30,000	21,055	21,632	21,611	25,018	
事業費						
(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	予算				9,500	
	決算					
一般	予算				0	
	決算					
事業費累計					9,500	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度		作組織	観光企画課
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成職・氏名	主事 長田 悟
						電話番号	076 - 225 - 1126 内線 3917

事業の背景・目的
 平成28年3月に策定された「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟が実施する観光振興事業の円滑な実施のために資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

事業の概要
 1 貸付額 92,000千円
 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

【参考】実施事業内容
 ○能登・加賀・金沢における各地域での魅力づくり
 能登・加賀地域での新幹線開業1周年イベント(5月～7月)、能登ふるさと博の開催(夏、冬)、加賀四湯博の開催(6月～9月)、金沢での食と音楽によるイベント(冬)や魅力的な観光素材づくり

○いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催
 市町・観光団体等が発掘・磨き上げた観光素材を旅行会社の商品造成責任者に提案し、助言を受ける会議の開催

○個人旅行者に対する情報発信の強化
 本県特設サイトを活用した観光特使によるロコミ情報の発信

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	30,000	21,055	21,632	21,611	25,018		
事業費							
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	予算					92,000	
	決算						
一般	予算					0	
	決算						
財源	決算						
事業費累計						92,000	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 加賀温泉旅館等誘客促進事業費	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	観光企画課						
成	職	氏名	主事 南 智史						
者	電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3930							

<事業の背景及び目的>

東海北陸自動車道及び世界遺産登録の五箇山・白川郷エリアと、加賀温泉郷・辰口温泉・白山温泉郷・金沢温泉郷の観光連携を図り、誘客を促進するために、白山白川郷ホワイトロード通行料の優待企画を実施する。

<事業の概要>

- 白山白川郷ホワイトロード「温泉に泊まって」片道無料キャンペーン(18,000千円)
- (1) 白山白川郷ホワイトロード通行料金の実質片道無料化(15,500千円)
- ①対象者 自家用車等を利用して加賀地域の協賛宿泊施設に宿泊した人
 - ②協賛宿泊施設 97施設(あわづ温泉6、片山津温泉11、山代温泉19、山中温泉17、辰口温泉3、白山温泉郷38、金沢温泉郷3)
 - ③実施期間 平成28年6月4日～11月10日の予定(白山白川郷ホワイトロード供用期間中)
 - ④料金体系(片道) 普通車1,600円、軽自動車1,400円、マイクロバス4,900円、大型バス10,800円
- (2) 広報宣伝の実施(2,500千円)
- ①協賛宿泊施設、観光関連団体、道の駅、三大都市圏などへの広報チラシ・ポスターの配布(13万枚)
 - ②「感動十景」(夏・秋号)への広告掲載
 - ③トヨタレンタリース石川店頭でのPOP広告による広報宣伝
 - ④JTB東海・中部各店舗でのデジタルサイネージによる広報宣伝
 - ⑤るぶトラベル、YDN (Yahoo! Display adNetwork)、GDN (Google Display adNetwork)、フォートラベル、ウェブトラベルマガジン「旅色」を利用したWEB広告宣伝

施策・課題の状況

施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価				
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上					
	指標	観光入り込み客数	単位 千人			
	目標値	現状値				
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	30,000	21,055	21,632	21,611	25,018	

事業費

	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	29,578	27,166	33,000	18,000	18,000
	決算	29,578	27,075	26,749	11,492	
一般	予算	29,578	27,166	33,000	18,000	18,000
財源	決算	29,578	27,075	26,749	114,921	
事業費累計		134,371	161,446	188,195	199,687	

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	次代を担う石川の観光人材育成事業	事業開始年度	H28	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	専門員 釜野 太志	
							者 電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3919

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線開業により新たなステージに入った本県の観光を、将来にわたり石川の活力を牽引する基幹産業として飛躍・発展させるため、産学官が連携して、本県の観光産業の次代を担う人材の育成を図る。

<事業の概要>

- (1)「いしかわ観光人材育成産学官連携会議(仮称)」の設置
 - ・観光連盟内に産学官の関係者で構成する連携会議を設置し、情報共有と人材育成に向けた方向性について検討
 - ・観光事業者と学生の意見交換の場として交流会を開催 など

- (2)「いしかわ観光創造塾」の開催
 - ・宿泊、交通、旅行業、観光施設、飲食などの幅広い観光関連事業の若手経営者や幹部候補等を対象に、観光に関わる多様な分野の人々と連携・協力して、自社の経営のみならず観光産業、ひいては地域の活性化に貢献できる人材を育成

- (3)「いしかわ観光功労者表彰(仮称)」の創設
 - ・観光産業に従事する人材のモチベーション向上と観光産業のイメージアップを図るため、新たに顕彰制度を創設

施策・課題の状況

施策	次代を担う石川の観光人材の育成に向けた取組を強化					評価
課題	観光振興を担う人材の育成					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成37年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	30,000	21,055	21,632	21,611	25,018	

事業費

	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算					3,000
	決算					
一般	予算					0
	決算					
財源	決算					
事業費累計						3,000

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>		
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>		